

<事業名>「耕作放棄地利用で安心野菜作り」体験交流講座  
 第三回 農業体験セミナー「サンデー・ファーマー」

団体名	非営利活動法人・B・Cグループ
所在地	美方郡香美町小代区
代表者名	井上亀夫

事業内容	<p>〔日時〕 平成 30 年 5 月 3 日、4 日、5 日 5 月 15 日、6 月 10 日、6 月 24 日</p> <p>〔場所〕 香美町小代区「廣井田んぼ内ファーマー農場」</p> <p>〔内容〕 実践編として不耕起地を利用した週末農業を行いました。 耕作放棄地の有効利用と都市と田舎の体験型交流講座も実施。 今までの経験を生かした安心安全野菜作り便利帳を作成、配布。 便利帳と実演でさらにわかりやすく行う。</p>
地域	香美町小代区「廣井田んぼ内ファーマー農場」
事業の効果	<p>① 団体（組織）内の効果 本年度で3回目開催となるので、都市部における宣伝も理解していただけている部分も多くお役所等・道の駅・大学・フリーペーパー・新聞社等 PR しやすく、組織のどのメンバーでも出向けるようになったのはすそ野拡大の点においても効果があります。</p> <p>② 地域への効果 連続・継続開催により地元の人々の参加もさらに増えるのではないかと考えられますし、今回は小代でも一番目立つ放棄地使用の農場なので注目度も高いと考えられます。 土地の有効利用・楽しく安心安全農業への関心が増えてきました。</p>

	月日(平成30年度)	場所	参加	実施内容	その他
事業経過	4月5日	D・B・Cグループ	12	スケジュール企画会議	
	4月10日	D・B・Cグループ	6	講習内容・冊子作製打ち合わせ	
	4月12日	D・B・Cグループ	6	冊子作製打ち合わせ	
	4月15日	D・B・Cグループ	10	進行スケジュール等確認会議	
	4月17日	D・B・Cグループ	20	冊子作製打ち合わせ	
	4月27日	イベント会場	8	のり面農園整備	
	4月28日	イベント会場	8	のり面農園整備	
	4月28日	D・B・Cグループ	8	冊子作製打ち合わせ	
	4月29日	D・B・Cグループ	6	冊子作製打ち合わせ	
	4月29日	イベント会場	6	のり面農園整備	
	4月30日	D・B・Cグループ	6	冊子作製打ち合わせ	
	5月1日	D・B・Cグループ	4	冊子作製打ち合わせ	
	5月2日	D・B・Cグループ	4	冊子作製打ち合わせ	
	5月3日	イベント会場	20	イベント通算1日目	
	5月4日	イベント会場	20	イベント通算2日目	
	5月5日	イベント会場	20	イベント通算3日目	
	5月5日	TIMES 食堂	20	感謝祭講習	
	5月6日	イベント会場	3	片づけ	
	5月8日	D・B・Cグループ	20	片づけ	
	5月15日	農園	4	自由参加 day	
6月10日	農園	6	自由参加 day		
6月24日	農園		自由参加 day		
6月26日	D・B・Cグループ		反省会		
7月2日	D・B・Cグループ		清算		
協働の相手方	小代美人草の会 小代観光協会 小代公民館 関ノ宮公民館 タイムス食堂 但馬観光会議				

〈事業を実施する上での課題〉

① 団体（組織）の課題

今回は 2 回目開催イベントだったので、組織としてある程度スムーズにスケジュールをこなせたと思われるが宣伝告知をいかに広範囲、マメにするかが課題のように思われる。

香美町の神戸宣伝営業所等、積極的に利用したい。香美町友好都市尼崎市・吹田市・門真市への誘客のための宣伝を移動手段も含め考える。

団体メンバーも講習講師となれるよう実績を積む。

② 地域の課題

安心安全な野菜作りが若い世代の家庭にも浸透するよう工夫する。

毎年開催することで周知の輪を広げるが、告知方法を広告以外もフリーペーパー、サークル、公民館イベントとリンクなど再考のこと。

イベント終了後も野菜作り希望者への農地借用相談等も積極的にえるような体制づくりを検討のこと。

〈31 年度以降の事業計画〉

都市部、農村部の若い世代の参加がこの三回目で大分増えました。

これからさらに、大学、主婦サークル等への PR をおこないすそ野拡大に努める春展開の事業で、植物の生育の楽しさ、田舎の自然、安心安全な作物、香美町の魅力事業として推進継続していきます。



5 月 3 日ファーマーズ農園



5 月 4 日ファーマーズ農園



5月4日ファーマーズ農園

---



5月5日感謝祭講習会

---